

くろまつない



社協だより

2024年1月
108

～広げよう支えあい！つなごう地域の力！～

令和6年 新年のご挨拶



明けましておめでとうございます。
います。

皆様におかれましては、新たな気持ちで新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

日頃より、地域福祉を推進する団体であります社会福祉協議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が続く中、今度はイスラエル軍とイスラム組織ハマスが「ガザ地区」で戦闘状態に陥り、一般市民を含む多くの犠牲者と、大きな被害が出ております。

一日も早い静穏で平和な市

民生活が戻ることを願って止みません。

一方、国内においては、日本中が記録的な猛暑に見舞われた異常な程の夏、長引く円安や原油高による物価高騰で、私達の暮らしを一層厳しいものにしましたが、将棋の藤井八冠や38年ぶりにプロ野球の日本一に輝いた阪神タイガースなど明るい話題もあった一年でありました。

さて、新型コロナウイルスが昨年の5月より「5類」に移行し、日常が落ち着きを取り戻しつつありますが、コロナ禍の長期化により、福祉課題の深刻化や多様化が進み、地域福祉の推進がますます必要になっております。

社協におきましても、誰もが地域の中で安心や生きがいを持つて暮らせる社会を創り出すため、地域住民や地域の多様な主体が当事者意識を持ち、地域課題に取り組み、支えられる側が支える側に変わ

ることも地域共生社会では重要な視点であり、取り組みを進めて参りたいと考えております。

地域での見守りや安否確認をはじめ、あらゆる社会資源を活用し、生活支援の仕組みづくりに向け、社協の多様性と柔軟性をいかし、多様な機関と連携し、町民の皆様が安全で安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを進めて参りますので、今後とも特段のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、赤い羽根共同募金、歳末助け合い募金、日赤、社協会費など、皆様のご理解とご協力に心より感謝を申し上げまして、新年のご挨拶と致します。

社会福祉法人

黒松内町社会福祉協議会

会長 津田 利幸

この広報は赤い羽根共同募金の配分金で作成しています。



赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動のお礼



10月1日より展開してありました「赤い羽根共同募金運動」と12月1日より展開しておりました「歳末たすけあい運動」は12月31日をもって終了しました。

昨年は町民の皆様、町内会、商店、企業や各団体等より温かい善意を賜りましたことにお礼申し上げます。

集められた募金は黒松内町を始めとする北海道の地域福祉に役立つよう活用させていただきますので、今年も引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。

くまげらの会交流会 開催



11月19日に町民センターにおいて、くまげらの会（グループホーム・共同生活援助いずみホーム）を利用されている方々と社協の安否確認サービス利用者の方、ボランティアの皆さんの交流を目的とした、「くまげらの会交流会」を開催しました。

この交流会は、もともと12月に年越し交流会として開催しており、以前は新型コロナウイルスの影響で開催前日の中止などもありましたが、今年度は4年ぶりに開催することができました。

交流会では、くまげらの会会員の方も所属されている、「しりべし学園和太鼓クラブ」による和太鼓の演奏が披露され、迫力のある演奏に会場の皆さんは引き込まれていました。その他にもビンゴ大会を行い、数字がなかなか揃わない中、参加者同士お互いのビンゴカードを眺めながら、和気あいあいとした時間を過ごしました。

身障協会 南後志ブロック研修会 参加

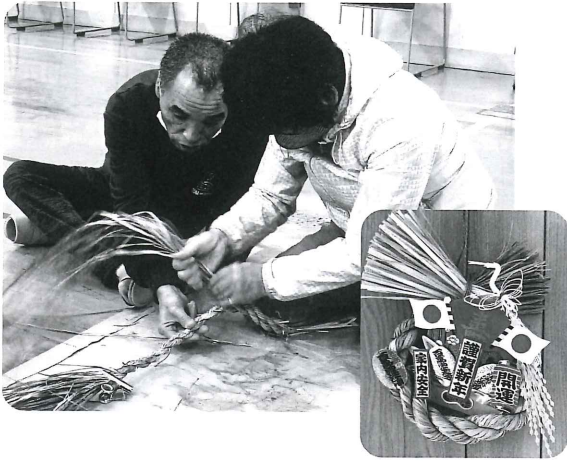


11月20日に寿都町で開かれた後志地区身体障害者福祉協会南後志ブロック研修会へ会員11名が参加しました。

研修会では、「より良く生きるために」と題して、寿都診療所の竹村雄斗医師による健康や障害についての講演会がありました。

その後の懇親会では、ビンゴ大会が行われました。当会会員からも約半数がビンゴになり皆さん笑顔で景品を受け取っていました。

しめ縄づくり交流会 開催



12月2日に、しりべし学園体育館にて、ふれあいのまちづくり事業「しめ縄づくり交流会」が4年ぶりに行われました。

しめ縄を編む作業では、参加者の方が悪戦苦闘しながらも、手慣れたしりべし学園利用者の皆さんと協力しながら作業していました。

編んだ後は、クリスマス飾りやお正月飾りを思い思いに飾り付けをして、オリジナルのしめ縄を作りました。

参加者からは「久しぶりに作ったので大変でしたが、楽しかったです。また来年も参加します!」との声がありました。

後志ろうあ協会 手話クリスマス会 参加



12月10日余市中央公民館にて、後志ろうあ協会手話クリスマス会が開催され、黒松内手話会からも10名が参加しました。

食事会では、緊張しながらも手話やジェスチャーで、楽しくコミュニケーションをとっていました。

各町村手話会による発表では、劇や踊り等が行われました。当会では、絵本をもとにした劇を手話で披露し、会場は大いに盛り上がりました。

※ 黒松内町手話会では、毎月手話勉強会を開催しています。歌を歌いながら手話をする等の簡単な手話表現を楽しく学ぶことが出来ます。興味がある方はご見学お待ちしております。

子ども会育成連合会 クリスマスリースづくり 開催



12月16日に黒松内町子ども会育成連合会の研修会として、町内在住の佐藤喜久さんを講師にお招きし、クリスマスリースづくりを行いました。

リースの飾りにはハーブの会の皆さまのご協力により、素敵なお花やライフラワーをたくさんご提供下さいました。子どもたちはブドウの木ので作った輪にドライフラワーやリボンなどを思い思いにかざりつけ、オンリーワンの作品を作り上げました。

杖先用アイスパックについて

【ピン型アイスパック】→

※積雪路面に強い



←【王冠型アイスパック】

※つるつる路面に強い



冬用に杖の先にアイスパックをつけていますか？アイスパックをつけると、凍結した路面に刺さるので、杖が滑りにくくなります。

1つ¥2,090円
(税込)で2種類(ピン型・王冠型)を販売しております。

必要な方は社会福祉協議会までお越しください。

ボランティア運送
ドライバー募集中！

社協では、自家用車によるボランティア運送事業を行っておりま
す。ボランティア運送とは、登録したドライ
バーが自家用車にて、
通院・買い物などの外
出を希望する町民を運
行範囲内の目的地まで
送迎する事業です(運
行範囲：倶知安・伊達・
八雲・岩内等の区間に
おける市町村)。

通院や買い物等でお
困りの方への支援のた
め、空いている時間に
ボランティアドライバー
をやってみません
か。月に1回や週に1
回の送迎のご協力でも
大丈夫です。

詳細は社協までお問
い合せ下さい。

あたたかいご寄附

ありがとうございます

【令和5年10月～11月】(順不同)

皆さまのご寄附は地域福祉推進のため、
有効に活用させていただきます

- | | |
|---------|---------|
| ・木村 順子様 | ・白神 京子様 |
| ・小杉フミ子様 | ・千葉 英博様 |
| ・山田 介子様 | ・岡部 節子様 |
| ・茂尾喜美子様 | ・小林 憲子様 |
| ・佐藤 典雄様 | ・佐々木輝夫様 |



上のQRコードをスマ
ートフォン等で読み取る
と、黒松内町社協のホーム
ページをご覧頂けます。

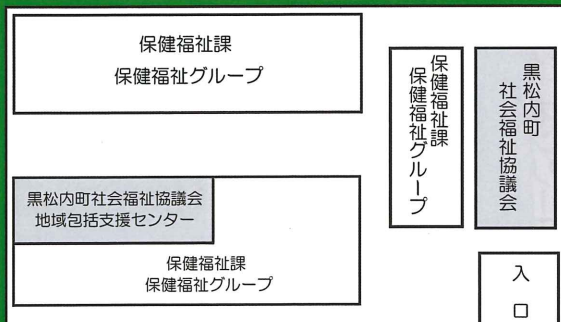
編集後記

11月末に降雪があり、また除
雪シーズンが始まったと思っ
たら12月上旬では雨が降り道
路が出ていました。

今年は暖冬になると言われ
ていますが、除雪回数が少ない
冬になるのでしょうか。



【保健福祉センター 1階】



■悩みごと・困りごとはありませんか？

日常生活の困りごと等お気軽にご相談ください。

社会福祉法人 黒松内町社会福祉協議会

寿都郡黒松内町字黒松内 586-1

黒松内町保健福祉センター内

電話：(0136) 72-3124 FAX：(0136) 72-3838

E-mail：kuro-shakyo@festa.ocn.ne.jp

HP：https://kuro-shakyo.sakura.ne.jp/